



XOR 無線サポート

- [デュアルバンド無線サポートについて \(1 ページ\)](#)
- [デフォルトの XOR 無線サポートの設定 \(2 ページ\)](#)
- [指定したスロット番号に対する XOR 無線サポートの設定 \(GUI\) \(4 ページ\)](#)
- [指定したスロット番号に対する XOR 無線サポートの設定 \(5 ページ\)](#)

デュアルバンド無線サポートについて

Cisco 2800、3800、4800、および 9120 シリーズの AP モデルのデュアルバンド (XOR) 無線は、2.4 GHz または 5 GHz 帯域を利用、または同一 AP 上での両帯域を受動的に監視する機能を提供します。これらの AP は、クライアントに 2.4 GHz および 5 GHz 帯域でサービスを提供するように設定できます。または、メインの 5 GHz 無線がクライアントにサービスを提供しながら、フレキシブル無線で 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の両方を順次スキャンします。

Cisco 9120 AP までの Cisco AP はデュアル 5 GHz 帯域の動作に対応できるように設計されており、専用のマクロ/マイクロアーキテクチャをサポートする i モデルと、マクロ/マクロをサポートする e および p モデルがあります。Cisco 9130 AXI AP および Cisco 9136 AP はデュアル 5 GHz 動作をマイクロ/Messo セルとしてサポートします。

無線が帯域間を移動する場合 (2.4 GHz から 5 GHz へ、またはその逆)、無線間で最適な分散を実現するには、クライアントをステアリングする必要があります。AP に 5 GHz 帯域の無線が 2 つある場合、フレキシブル ラジオ アサインメント (FRA) アルゴリズムに含まれるクライアント ステアリング アルゴリズムを使用して、同じ帯域の共存無線間でクライアントをステアリングします。

XOR 無線のサポートのステアリングは、手動または自動で行うことができます。

- 無線での帯域の手動ステアリング：XOR 無線の帯域は手動でのみ変更できます。
- 無線でのクライアントおよび帯域の自動ステアリングは、サイトの要件に従って帯域構成を監視および変更する FRA 機能によって管理されます。



(注) スロット 1 で静的チャネルが設定されている場合、RF 測定は実行されないため、デュアルバンド無線スロット 0 は 5 GHz 無線でのみ移動し、モニターモードには移動しません。

スロット 1 の無線が無効になっている場合、RF 測定は実行されず、デュアルバンド無線のスロット 0 は 2.4 GHz 無線のみになります。

デフォルトの XOR 無線サポートの設定

始める前に



(注) デフォルトの無線とは、スロット 0 でホストされている XOR 無線を指します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： デバイス# enable	特権 EXEC モードを開始します。
ステップ 2	ap name ap-name dot11 dual-band antenna ext-ant-gain antenna_gain_value 例： デバイス# ap name ap-name dot11 dual-band antenna ext-ant-gain 2	特定のシスコ アクセス ポイントの 802.11 デュアルバンドアンテナを設定します。 <i>antenna_gain_value</i> : 有効な範囲は 0 ~ 40 です。
ステップ 3	ap name ap-name [no] dot11 dual-band shutdown 例： デバイス# ap name ap-name dot11 dual-band shutdown	特定のシスコ アクセス ポイントでデフォルトのデュアルバンド無線をシャットダウンします。 無線を有効にするには、このコマンドの no 形式を使用します。
ステップ 4	ap name ap-name dot11 dual-band role manual client-serving 例： デバイス# ap name ap-name dot11 dual-band role manual client-serving	シスコ アクセス ポイントでクライアントサービングモードに切り替えます。
ステップ 5	ap name ap-name dot11 dual-band band 24ghz	2.4 GHz 無線帯域に切り替えます。

	コマンドまたはアクション	目的
	例 : デバイス# ap name ap-name dot11 dual-band band 24ghz	
ステップ 6	ap name ap-name dot11 dual-band txpower {transmit_power_level auto} 例 : デバイス# ap name ap-name dot11 dual-band txpower 2	特定のシスコアクセスポイントにおける無線の送信電力を設定します。 (注) FRA 対応無線 (たとえば、9120 AP のスロット 0) が Auto に設定されている場合、この無線で静的チャンネルと送信電力を設定することはできません。 この無線で静的チャンネルと送信電力を設定する場合は、無線のロールを手動クライアントサービスモードに変更する必要があります。
ステップ 7	ap name ap-name dot11 dual-band channel channel-number 例 : デバイス# ap name ap-name dot11 dual-band channel 2	デュアルバンドのチャンネルを入力します。 channel-number : 有効な範囲は 1 ~ 173 です。
ステップ 8	ap name ap-name dot11 dual-band channel auto 例 : デバイス# ap name ap-name dot11 dual-band channel auto	デュアルバンドの自動チャンネル割り当てを有効にします。
ステップ 9	ap name ap-name dot11 dual-band channel width {20 MHz 40 MHz 80 MHz 160 MHz} 例 : デバイス# ap name ap-name dot11 dual-band channel width 20 MHz	デュアルバンドのチャンネル幅を選択します。
ステップ 10	ap name ap-name dot11 dual-band cleanair 例 : デバイス# ap name ap-name dot11 dual-band cleanair	デュアルバンド無線の Cisco CleanAir 機能を有効にします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 11	ap name <i>ap-name</i> dot11 dual-band cleanair band {24 GHz 5 GHz} 例： デバイス# ap name <i>ap-name</i> dot11 dual-band cleanair band 5 GHz デバイス# ap name <i>ap-name</i> [no] dot11 dual-band cleanair band 5 GHz	Cisco CleanAir 機能の帯域を選択します。 Cisco CleanAir 機能を無効にするには、このコマンドの no 形式を使用します。
ステップ 12	ap name <i>ap-name</i> dot11 dual-band dot11n antenna {A B C D} 例： デバイス# ap name <i>ap-name</i> dot11 dual-band dot11n antenna A	特定のアクセスポイントの 802.11n デュアルバンドパラメータを設定します。
ステップ 13	show ap name <i>ap-name</i> auto-rf dot11 dual-band 例： デバイス# show ap name <i>ap-name</i> auto-rf dot11 dual-band	シスコアクセスポイントの自動 RF 情報を表示します。
ステップ 14	show ap name <i>ap-name</i> wlan dot11 dual-band 例： デバイス# show ap name <i>ap-name</i> wlan dot11 dual-band	シスコアクセスポイントの BSSID のリストを表示します。

指定したスロット番号に対する XOR 無線サポートの設定 (GUI)

手順

ステップ 1 [Configuration] > [Wireless] > [Access Points] の順にクリックします。

ステップ 2 [Dual-Band Radios] セクションで、デュアルバンド無線を設定する AP を選択します。

AP の AP 名、MAC アドレス、CleanAir 機能、およびスロット情報が表示されます。HyperLocation 方式が HALO の場合は、アンテナの PID とアンテナの設計情報も表示されます。

ステップ 3 [Configure] をクリックします。

ステップ 4 [General] タブで、必要に応じて [Admin Status] を設定します。

ステップ 5 [CleanAir Admin Status] フィールドを [Enable] または [Disable] に設定します。

ステップ 6 [Update & Apply to Device] をクリックします。

指定したスロット番号に対する XOR 無線サポートの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device# enable	特権 EXEC モードを開始します。
ステップ 2	ap name ap-name dot11 dual-band slot 0 antenna ext-ant-gain external_antenna_gain_value 例： デバイス# ap name AP-SIDD-A06 dot11 dual-band slot 0 antenna ext-ant-gain 2	特定のアクセスポイントのスロット 0 でホストされている XOR 無線のデュアルバンドアンテナを設定します。 <i>external_antenna_gain_value</i> : 外部アンテナゲイン値 (.5 dBi の倍数単位)。有効な範囲は 0 ~ 40 です。
ステップ 3	ap name ap-name dot11 dual-band slot 0 band {24ghz 5ghz} 例： デバイス# ap name AP-SIDD-A06 dot11 dual-band slot 0 band 24ghz	特定のアクセスポイントのスロット 0 でホストされている XOR 無線の現在の帯域を設定します。
ステップ 4	ap name ap-name dot11 dual-band slot 0 channel {channel_number auto width [160 20 40 80]} 例： デバイス# ap name AP-SIDD-A06 dot11 dual-band slot 0 channel 3	特定のアクセスポイントのスロット 0 でホストされている XOR 無線のデュアルバンドチャンネルを設定します。 <i>channel_number</i> : 有効な範囲は 1 ~ 165 です。
ステップ 5	ap name ap-name dot11 dual-band slot 0 cleanair band {24Ghz 5Ghz} 例： デバイス# ap name AP-SIDD-A06 dot11 dual-band slot 0 cleanair band 24Ghz	特定のアクセスポイントのスロット 0 でホストされているデュアルバンド無線の CleanAir 機能を有効にします。
ステップ 6	ap name ap-name dot11 dual-band slot 0 dot11n antenna {A B C D} 例： デバイス# ap name AP-SIDD-A06 dot11 dual-band slot 0 dot11n antenna A	特定のアクセスポイントのスロット 0 でホストされている 802.11n デュアルバンドパラメータを設定します。 ここで、各変数は次のように定義されます。

	コマンドまたはアクション	目的
		<p>A : アンテナポート A を有効にします。</p> <p>B : アンテナポート B を有効にします。</p> <p>C : アンテナポート C を有効にします。</p> <p>D : アンテナポート D を有効にします。</p>
ステップ 7	<p>ap name <i>ap-name</i> dot11 dual-band slot 0 role {auto manual [client-serving monitor]}</p> <p>例 :</p> <pre>デバイス# ap name AP-SIDD-A06 dot11 dual-band slot 0 role auto</pre>	<p>特定のアクセスポイントのスロット 0 でホストされている XOR 無線のデュアルバンドの役割を設定します。</p> <p>デュアルバンドの役割は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • auto : 無線の役割を自動で選択することを指します。 • manual : 無線の役割を手動で選択することを指します。
ステップ 8	<p>ap name <i>ap-name</i> dot11 dual-band slot 0 shutdown</p> <p>例 :</p> <pre>デバイス# ap name AP-SIDD-A06 dot11 dual-band slot 0 shutdown</pre> <pre>デバイス# ap name AP-SIDD-A06 [no] dot11 dual-band slot 0 shutdown</pre>	<p>特定のアクセスポイントのスロット 0 でホストされているデュアルバンド無線を無効にします。</p> <p>デュアルバンド無線を有効にするには、このコマンドの no 形式を使用します。</p>
ステップ 9	<p>ap name <i>ap-name</i> dot11 dual-band slot 0 txpower {<i>tx_power_level</i> auto}</p> <p>例 :</p> <pre>デバイス# ap name AP-SIDD-A06 dot11 dual-band slot 0 txpower 2</pre>	<p>特定のアクセスポイントのスロット 0 でホストされている XOR 無線のデュアルバンド送信電力を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>tx_power_level</i> : 送信電力レベルを dBm 単位で示します。有効な範囲は 1 ~ 8 です。 • auto : 自動 RF を有効にします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。